

【宜野湾市】R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 値 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	
・ライフスタイルや価値観の 多様化が進む中で、地域に おける支え合いやつながりが 希薄化している。 ・児童生徒を取り巻く環境が 複雑化、高度情報化するな か、地域住民と児童生徒が 学び合える環境づくりが求 められている。	・市内全小中学校に地域コーディネ ーターを配置する。 ・地域コーディネーターは、学校と地域 の連絡調整等の窓口を担い、地域ボラ ンティアを地域学校協働活動につなげ ていく。 ・地域コーディネーター同士が互いに情 報共有・意見交換できる連絡会を適宜 開催する。	市内13小中学校中、13校に地域コー ディネーターを配置し、地域ボランティア を各小中学校で取り組まれる地域学校 協働活動につなげた。	・学校を中心として、地域で 子どもたちの成長を支え、相 互に学び合える環境づくりが 図られる。 ・地域住民の学びや自己実 現、生きがいづくりにつなが る。	地域学校協働活 動に参加する地域 ボランティア人数	1,733	人	1,800	1,932	03 本年度 の目標値を 達成し、課 題の改善が 見られた	・各小中学校地域コーディネーターの積極的な活動に より、昨年度よりも多くの地域ボランティアが地域学校 協働活動に参加した。 ・地域コーディネーターがより活動しやすい環境を整備 するためには、学校内の執務環境や情報共有の充実 が必要。 ・地域コーディネーターがより活動しやすい環境を整備 するため、学校に向け、地域コーディネーターの執務 環境の充実や、情報共有の促進を要請する
共働き世帯やひとり親世帯 などの児童に限らず、全て の児童が放課後等における 多様な体験・活動を行うこと ができるよう、行政・学校・ 家庭・地域が連携した子ど もの居場所づくりが求めら れている。	・希望する小学校へ、放課後子ども教 室コーディネーターを配置する。 ・放課後子ども教室コーディネーター は、学校の空きスペース等を活用した 放課後の様々な体験活動や、学習プロ グラムの企画運営を行う。	市内9小学校中、6小学校で放課後子ど も教室を実施し、学校と地域の連携のも と、学習面のサポートや、お絵かき、三 線、ものづくり、科学実験等の体験活動 の機会を提供した。	・子どもの居場所づくりをと おして、地域人材の育成や、学 校・PTA・地域住民との連携 を図ることができる。 ・生け花体験や科学教室な ど、普段の学校生活では経 験できない学習機会を子ど もたちに提供できる。	放課後子ども教室 への参加児童数	3,686	人	3,750	3,584	02 本年度 の目標値を 下回り、取 組の工夫・ 改善が求め られる	・昨年度に比べ、参加児童数はやや下回り、目標値は 達成できなかったものの、放課後子ども教室が昨年度 より1か所増え、より多くの場所で児童への体験活動 の機会が提供された。 ・事務局と各教室の放課後コーディネーター間で連携 を深め、子どもたちが、より参加しやすい放課後子ども 教室の運営に努める。